

令和6年度 第3回印西市部活動地域移行推進協議会 次第

日時：令和6年10月9日（水）

13：30～

場所：印西市役所2F 23会議室

1 開会

2 報告事項

（1）印西市議会での一般質問と答弁

（2）部活動地域移行リーフレット vol.5 について

3 協議事項

（1）今後のスケジュールについて

（2）部活動地域移行モデル実証事業の業務委託（仕様）について

4 その他

（1）第4回協議会の日程について

5 閉会

【今後の協議会の予定】

■印西市部活動地域移行推進協議会

第1回(5／20) 第2回(7／4) 第3回(10／9) 第4回(1／24)

報告事項（１）「印西市議会（９月議会）での質問・答弁について」

質問 答弁	Q 部活動地域移行の状況について伺う。 A 印西市部活動地域移行推進協議会の中で検討した結果、令和７年９月より１年間、野球と女子バレーボールの２種目でモデル実証事業を実施することとなりました。その後、令和８年９月より１年間、全１２種目の本格モデル実証事業の実施を予定しております。
再質問 答弁	Q 夏休み等の長期休みの期間は移行の対象となるのか伺う。 A 当面の間は、休日の部活動地域移行であることから、長期休業中につきましても休日のみ地域クラブでの活動を想定しております。長期休業中の平日におきましては、部活動としての活動も可能でございます。
再質問 答弁	Q 生徒・保護者からの意見について伺う。 A 令和５年１１月に forms を用いて児童生徒および保護者を対象としましたアンケートを実施しております。 その時のアンケート結果や回答の詳細につきましては令和５年度第４回部活動地域移行推進協議会の資料として印西市のＨＰに公開しております。 児童生徒や保護者からは、肯定的なご意見をいただいた一方で、全体的には否定的なご意見も多かったと把握しております。印西市が進めようとしている地域移行の在り方を丁寧に説明し、市民の理解を得られるように努めてまいります。
質問 答弁	Q 実証事業の検証方法はどのようにするのか。 A 令和７年度９月よりスタートのモデル実証事業では、生徒の休日の活動の受け皿として役割を果たすのか検証していきます。適宜、地域クラブの視察やアンケート等を実施し、地域クラブの在り方について確認・検討をしてまいります。 次に、令和８年度９月より本格モデル事業では、受益者負担の徴収や指導者への報酬の支払いを含め、持続可能なスポーツ・文化芸術活動になっていくのかという点にポイントを置いて検証する予定でございます。
質問 答弁	Q 部活動地域移行の対象となる休日の部活動について A 令和７年９月より、モデル実証事業で地域クラブへの移行を予定している部活動は野球と女子バレーボールでございます。 令和８年９月からは、これに加えて、陸上競技、サッカー、バスケットボール、男子バレーボール、卓球、バドミントン、硬式テニス、ソフトテニス、柔道、剣道、吹奏楽の現在、休日に実施しているすべての部活動の地域クラブ移行を予定しております。
再質問 答弁	Q これで全部活動なのか A モデル実証事業では、休日に活動のある部活動の種目を地域クラブ化しております。美術部や科学部などの休日の活動がない部活動については地域クラブ化しておりません。
再質問 答弁	Q 実証事業終了後、令和９年９月以降どのようなようになるのか A 令和９年９月以降につきましては、モデル実証事業で検証し、可能な限り課題を解決した上で、休日の部活動を完全に地域に移行する予定でございます。

質問 答弁	Q 部活動地域移行モデル事業の具体的な実施方法は。 A 地域移行の運営団体を民間事業者に業務委託をする予定でございます。その運営団体が指導者の登録や勤怠管理、また、生徒の募集と登録を管理し、地域クラブを運営してまいります。休日に実施している全部活動を対象としたモデル実証事業では受益者負担の徴収と謝金の支払も業務の一部として委託する予定でございます。
質問 答弁	Q 部活動地域移行モデル事業の準備状況は A 業者委託に係るプロポーザルの実施に向けて準備を行っているところでございます。
質問 答弁	Q 市長の考える「子どもに寄り添った部活動の地域移行」とは。 A 全国的に部活動地域移行が各自治体によって進められておりますが、それぞれ現状や課題も違うため、一律に同じ形での地域移行を実施できていない状況であると認識しております。 印西市におきましても、大規模校と小規模校の混在が実態として課題にあがっております。印西市内のどの中学校に在籍していても、今まで学校に設定のなかった種目にも取り組むことができるよう市内で様々なスポーツ・文化芸術活動に取り組むことのできる環境を整えられるよう尽力してまいりたいと考えております。
再質問 答弁	Q 地域クラブへの移行に伴う課題についてどのように解決を図るのか。 A モデル実証事業と本格モデル実証事業の中で丁寧に成果と課題を検証し、課題については、部活動地域移行推進協議会において話し合い、子どもたちに寄り添った持続可能なスポーツ・文化芸術活動となるようにしてまいりたいと考えております。
再質問 答弁	Q 参加の人数が大きく減る等の懸念はないのか。 A 参加の人数は大きく減るのではないかといたしておりますが、地域移行を先行している市においては、対象生徒の7割が地域クラブに所属し活動しているという情報を得ております。懸念はございますが、丁寧に対応してまいりたいと考えております。
再質問 答弁	Q 困窮世帯の活動費の支援を検討しないのか。 A 今後、他市町の状況を確認していきながら、検討してまいりたいと考えております。
質問 答弁	Q 業務委託を前提とした、休日の全部活動を一斉に学校部活動から切り離し、地域移行する現在の方針をいったん見直す考えはないか。 A 現状、部活動地域移行推進協議会で議論して準備してまいりました方針とスケジュールに沿って地域移行を実施していく予定でございます。県が示す指針として、令和7年度末までに休日完全移行への推進計画が示されております。多くの自治体で令和8年度は学校部活動ではない地域クラブでの活動が本格的になってくることが予想されます。 印西市でも、令和7年9月から実施するモデル実証事業で検証し、課題を洗い出し、令和8年9月から開始する本格実証事業で受益者負担の徴収も含めて検証し、持続可能な部活動地域移行を目指してまいります。
再質問 答弁	Q 実証実験の結果を受け、部活動の在り方を検証して進めるのはいかがか。 A モデル実証事業を丁寧に検証分析し、成果と課題を把握した上で、より良い部活動地域移行の在り方を模索して実施していこうと考えております。

報告事項（２）

部活動地域移行リーフレット vol.5

公開前の検討のため非公開

協議事項（１）「今後のスケジュール」

【印西市部活動地域移行の今後の予定】

令和6年11月	入札審査会 リーフレットによる進捗の周知
令和6年12月	地域移行運営業務委託業者選定（プロポーザル）
令和7年1月	新入生説明会（各学校）での説明
令和7年2月	地域移行運営業務委託業者契約（予定）業者打ち合わせ
令和7年3月	★第4回地域移行推進協議会（案） 契約業者による運営内容説明会 ＋ 次年度以降の予定
令和7年4月	野球・女子バレー（生徒・保護者）向け説明会（予定）
令和7年5月	指導者確保・指導者研修 生徒登録
令和7年6月	
令和7年7月	
令和7年8月	モデル事業事前説明会（予定）
令和7年9月	モデル実証事業（野球・女子バレーボール）開始
令和7年10月	地域クラブ活動の視察
令和7年11月	地域クラブ活動の視察
令和7年12月	地域クラブ活動の視察
令和8年1月	生徒・保護者・指導者・教員アンケートの実施
令和8年2月	半期の検証分析 ⇒ 県の事業委託の報告
令和8年3月	本格モデル事業に向けた準備の開始
令和8年4月	地域クラブ（生徒・保護者）説明会（予定）

協議事項（２）①「部活動地域移行業務委託の内容」

【部活動の現状】

教師 ○生徒指導の充実 ▲指導を継続したい教師（約３割） ▲専門ではない種目の顧問の負担 ▲時間外労働・過労死 ▲引率だけでなく大会運営 ▲教員のプライベートの犠牲	生徒 ○友人と団結する ○スポーツ等に打ち込める ▲やりたい種目がない ▲休みがない・練習がきつい ▲顧問の先生が専門ではない
--	--

⇒【少子化でも持続可能なスポーツ・文化芸術活動】【働き方改革】 → **部活動地域移行**

【地域クラブの在り方】

部活動置き換え型	現状の部活動に指導者を派遣	○スムーズに地域移行できる ○教員にはメリット ○保護者の負担が少ない ▲やりたい種目がない（生徒デメリット） ▲学校規模によって課題
合同（エリア）型	拠点校型地域クラブ	○やりたい種目を選べる ○複数の学校の生徒の交流を持てる ▲自力で通える範囲で移動できる ▲地区によって定員にもれる場合も
登録（オープン）型	登録制地域クラブ	○やりたい種目・クラブを自由を選べる ○生徒にはメリット ○種目の人数に応じたクラブ設置 ▲保護者の送迎が必要な場合も ▲部活動ではない新たな在り方

【部活動地域移行の運営（実施主体）について】

行政主導型	教育委員会（指導課・生涯学習課） スポーツ振興課	○学校との連携 ▲業務負担が膨大
団体主導型	スポーツ協会 スポーツ少年団 各競技連盟	○専門的な指導が可能 ▲運営が難しい - 現状として十分な協力を得られない（アンケートより）
業務委託型	民間スポーツクラブ 人材派遣会社	○運営ノウハウ ▲運営費の受益者負担

※部活動の現状や背景を考慮し、アンケート等から印西市の部活動の課題を洗い出し、実施主体を民間事業者業務委託する形で部活動地域移行を進めていこうと考える。
⇒そのために業務委託に係る仕様を精査してプロポーザルで事業者と契約していく。

協議事項（２）②「仕様書の検討事項」

仕様の検討のため非公開